253196

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2019年７月９日［当初、2028年３月９日］まで（2018年３月12日設定）	
運用方針	世界テクノロジー株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。以下同じ。）の株式等（預託証書を含みます。以下同じ。）に投資を行います（なお、不動産投資信託証券に投資を行う場合があります。）。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 株式等の運用にあたっては、フランクリン・アドバイザーズ・インクに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	世界テクノロジー株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

［繰上償還］

世界テクノロジー株式ファンド（年１回決算型）

愛称：ミライテック

信託終了日：2019年７月９日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「世界テクノロジー株式ファンド（年１回決算型）」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、７月９日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

MUFG
三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番１号
ホームページ　https://www.am.mufg.jp/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル　０１２０－１５１０３４
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額 税込み分配金	基準価額 期中騰落率	（参考指数）MSCI ACWI Information Technology Index (配当込み、円換算ベース)	参考指数 期中騰落率	株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	円 銭	円	%		%	%	%	%	百万円
(設定日) 2018年３月12日	10,000	－	－	27,467.97	－	－	－	－	300
1期(2019年3月11日)	10,684	0	6.8	27,430.17	△ 0.1	96.0	－	2.0	320
(償還時) 2期(2019年7月9日)	(償還価額) 10,981.12	－	2.8	30,270.82	10.4	－	－	－	329

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
(注) MSCI ACWI Information Technology Index（配当込み、円換算ベース）は、MSCI ACWI Information Technology Index（税引き後配当込み米ドル建）の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱ＵＦＪ国際投信が円換算したものです。
MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。
(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	（参考指数）MSCI ACWI Information Technology Index（配当込み、円換算ベース）	騰落率	株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
（期首）	円 銭	%		%	%	%	%
2019年３月11日	10,684	－	27,430.17	－	96.0	－	2.0
３月末	11,113	4.0	28,730.87	4.7	96.5	－	1.5
４月末	11,886	11.3	31,010.41	13.1	97.4	－	0.7
５月末	10,859	1.6	28,020.22	2.2	96.5	－	0.8
６月末	10,989	2.9	29,579.73	7.8	－	－	－
（償還時）	（償還価額）						
2019年７月９日	10,981.12	2.8	30,270.82	10.4	－	－	－

（注）騰落率は期首比。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
（注）「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第１期～第２期：2018年３月12日～2019年７月９日

設定来の基準価額等の推移について

基準価額等の推移

第１期首	10,000円
第２期末	10,981.12円
既払分配金	0円
騰落率	9.8%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ9.8％の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

世界最大級のソフトウェア会社「MICROSOFT CORP」や、クラウドコンピューティングサービスを提供する会社「SERVICENOW INC」などの株価上昇などが、基準価額の上昇要因となりました。

第１期～第２期：2018年３月12日～2019年７月９日

投資環境について

株式市況

設定来の株式市況は上昇しました。

設定時から2018年９月末にかけては、米中貿易摩擦の深刻化などが上値を抑える要因となった一方で、朝鮮半島情勢が改善に向かったことや堅調な米国経済などが下支え要因となり、テクノロジーセクターの株価は一進一退となりました。12月末にかけては、米中対立の激化懸念が高まったことに加え、世界経済の先行き不透明感の高まりや米政府機関の一部閉鎖に対する懸念などから下落しました。

2019年に入ると諸々の先行き不安感が後退したことなどから、株価は戻り基調となりました。その後、米中の通商協議に進展の兆しがみられたことや米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）の利下げ期待などから上昇しました。

為替市況

設定来の主要投資先通貨である米ドルは対円で上昇しました。

2018年年末までは、ＦＲＢが利上げしたことなどから、米ドルは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

世界テクノロジー株式ファンド（年１回決算型）

世界テクノロジー株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行いました。実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

第２期（2019年３月12日～信託終了日）は、上記の運用を維持し、信託終了日にかけてマザーファンドの償還金を受領しました。

世界テクノロジー株式マザーファンド

信託期間を通じて、日本を含む世界各国（新興国を含みます）の株式等を主要投資対象とし、革新的なテクノロジーの開発および活用等により持続的な収益の成長が期待される企業の株式等に投資を行いました。

銘柄選定に当たっては、情報通信技術分野のみならず、幅広い分野の中から投資機会を発掘しました。

なお、株式等の運用にあたっては、フランクリン・アドバイザーズ・インクに運用指図に関する権限を委託しました。

組入比率

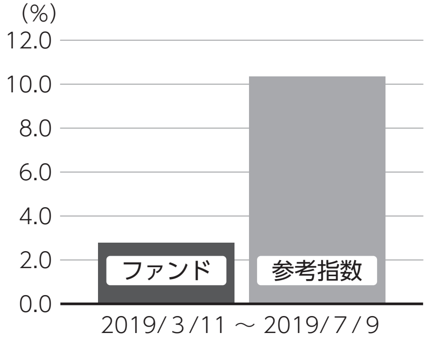
設定時から株式の高位組み入れを維持しました。

第２期（2019年３月12日～信託終了日）は、上記の運用を維持し、繰上償還に向け2019年６月17日に保有資産を全売却し、安定運用に切り替えました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

右記のグラフは第２期を掲載しています。
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
参考指数はMSCI ACWI Information Technology Index（配当込み、円換算ベース）です。
なお、設定来の基準価額は9.8％の上昇、参考指数は10.2%の上昇となりました。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

信託期間中の収益の分配はありません。

償還価額

▶ 世界テクノロジー株式ファンド（年１回決算型）

償還価額は、10,981円12銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

2019年３月12日～2019年７月９日

１万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額（円）	比率（%）	
(a)信　託　報　酬	68	0.605	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
(投　信　会　社)	(34)	(0.302)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販　売　会　社)	(32)	(0.285)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受　託　会　社)	(2)	(0.018)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	2	0.018	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(　株　式　)	(2)	(0.018)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c)有価証券取引税	0	0.004	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(　株　式　)	(0)	(0.004)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d)そ　の　他　費　用	2	0.020	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保　管　費　用)	(2)	(0.019)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監　査　費　用)	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ　の　他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合　計	72	0.647	

期中の平均基準価額は、11,215円です。

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2019年３月12日～2019年７月９日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
世界テクノロジー株式マザーファンド	－	－	293,803	330,663

○株式売買比率

（2019年３月12日～2019年７月９日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	世界テクノロジー株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	354,767千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	327,754千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	1.08

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2019年３月12日～2019年７月９日）

利害関係人との取引状況

＜世界テクノロジー株式ファンド（年１回決算型）＞

該当事項はございません。

＜世界テクノロジー株式マザーファンド＞

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	19	－	－	335	1	0.3
為替直物取引	6	0.025948	0.4	333	324	97.3

平均保有割合　100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項　　　　　目	当　　　　期
売買委託手数料総額（A）	61千円
うち利害関係人への支払額（B）	0.626千円
（B）／（A）	1.0％

（注）売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーＭＵＦＧ証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2019年３月12日～2019年７月９日）

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高(元本)	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
300	－	－	300	当初設定時における取得

○組入資産の明細

（2019年７月９日現在）

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘　　　　柄	期首(前期末)
	口　　　　数
	千口
世界テクノロジー株式マザーファンド	293,803

○投資信託財産の構成

（2019年７月９日現在）

項　　　　　目	償　　還　　時	
	評　価　額	比　　率
	千円	％
コール・ローン等、その他	331,473	100.0
投資信託財産総額	331,473	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2019年７月９日現在）

項目	償還時
	円
(A) 資産	331,473,310
コール・ローン等	331,473,310
(B) 負債	2,039,578
未払信託報酬	2,035,058
未払利息	535
その他未払費用	3,985
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	329,433,732
元本	300,000,000
償還差益金	29,433,732
(D) 受益権総口数	300,000,000口
１万口当たり償還価額（Ｃ／Ｄ）	10,981円12銭

＜注記事項＞

①期首元本額　300,000,000円
　期中追加設定元本額　0円
　期中一部解約元本額　0円
　また、１口当たり純資産額は、期末1.098112円です。

②「世界テクノロジー株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の50以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○損益の状況（2019年３月12日～2019年７月９日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 824
支払利息	△ 824
(B) 有価証券売買損益	10,946,453
売買益	10,946,453
(C) 信託報酬等	△ 2,039,043
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	8,906,586
(E) 前期繰越損益金	20,527,146
償還差益金（Ｄ＋Ｅ）	29,433,732

（注）(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
（注）(C)**信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2018年３月12日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年７月９日		資産総額	331,473,310円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	2,039,578円
				純資産総額	329,433,732円
受益権口数	300,000,000口	300,000,000口	－口	受益権口数	300,000,000口
元本額	300,000,000円	300,000,000円	－円	１万口当たり償還金	10,981円12銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	１万口当たり分配金	
				金額	分配率
第１期	300,000,000円	320,527,146円	10,684円	0円	0%

○償還金のお知らせ

１万口当たり償還金（税込み）	10,981円12銭

◆償還金は償還日から起算して５営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％、地方税５％）の税率による申告分離課税が適用されます。

・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％、地方税５％）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。
※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

［お 知 ら せ］

①全残存口数に対して受益者からの解約請求があり、投資信託約款第47条第１項に規定する「やむを得ない事情が発生したとき」に該当したため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。
(2019年７月９日)

②2014年１月１日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15％に2.1％の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％、地方税５％（法人受益者は15.315％の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

世界テクノロジー株式マザーファンド

《繰上償還(第３期)》信託終了日2019年７月８日

［計算期間：2019年３月12日～2019年７月８日］

「世界テクノロジー株式マザーファンド」は、この度、約款の規定に基づき、７月８日に繰り上げて償還させていただきました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第３期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。以下同じ。）の株式等（預託証書を含みます。以下同じ。）に投資を行います（なお、不動産投資信託証券に投資を行う場合があります。）。 株式等への投資にあたっては、ファンダメンタルズ分析に基づき、革新的なテクノロジーの開発および活用等により持続的な収益の成長が期待される銘柄を選定します。 株式等の運用にあたっては、フランクリン・アドバイザーズ・インクに運用指図に関する権限を委託します。 株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数）MSCI ACWI Information Technology Index（配当込み、円換算ベース）		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		期中騰落率				
(設定日)	円 銭	%		%	%	%	%	百万円
2018年3月12日	10,000	－	27,467.97	－	－	－	－	299
1期(2018年9月10日)	10,848	8.5	28,686.50	4.4	96.1	－	2.6	321
2期(2019年3月11日)	10,882	0.3	27,430.17	△ 4.4	96.3	－	2.0	319
(償還時)	(償還価額)							
3期(2019年7月8日)	11,252.81	3.4	30,408.57	10.9	－	－	－	329

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
(注) MSCI ACWI Information Technology Index（配当込み、円換算ベース）は、MSCI ACWI Information Technology Index（税引き後配当込み米ドル建）の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱ＵＦＪ国際投信が円換算したものです。
MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。
(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSCI ACWI Information Technology Index (配当込み、円換算ベース)		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率			
(期首)	円 銭	%		%	%	%	%
2019年３月11日	10,882	－	27,430.17	－	96.3	－	2.0
３月末	11,330	4.1	28,730.87	4.7	96.6	－	1.5
４月末	12,137	11.5	31,010.41	13.1	97.6	－	0.7
５月末	11,106	2.1	28,020.22	2.2	96.8	－	0.8
６月末	11,255	3.4	29,579.73	7.8	－	－	－
(償還時)	(償還価額)						
2019年７月８日	11,252.81	3.4	30,408.57	10.9	－	－	－

(注) 騰落率は期首比。
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

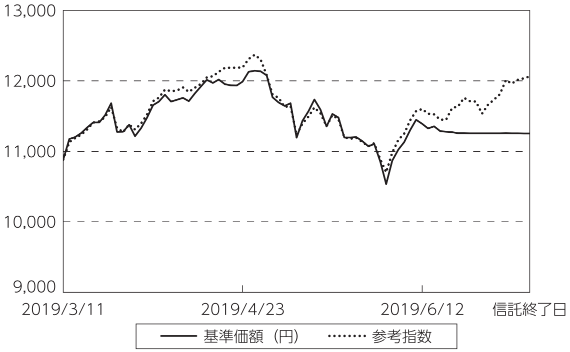
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

償還価額は期首に比べ3.4%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

世界最大級のソフトウェア会社「MICROSOFT CORP」や、クラウドコンピューティングサービスを提供する会社「SERVICENOW INC」などの株価上昇などが、基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎株式市況

・テクノロジーセクターの株価は、期を通してみると上昇しました。
・期首から2019年４月末にかけては、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）が利上げを行わない見通しを示したことや、米中通商協議の進展期待、英国の欧州連合（ＥＵ）離脱を巡る与野党協議が建設的に進んだとの報道などから上昇しました。その後、米中対立が激化したことなどから下落し、上昇幅が縮小したものの、５月末に米中首脳会談の実施により、米中貿易協議の進展への期待やＦＲＢの利下げ期待などから上昇しました。

◎為替市況

・主要投資先通貨である米ドルは対円で下落しました。

・米中貿易摩擦の激化やＦＲＢの利下げ期待などから、米ドルは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて
・日本を含む世界各国（新興国を含みます）の株式等を主要投資対象とし、革新的なテクノロジーの開発および活用等により持続的な収益の成長が期待される企業の株式等に投資を行いました。
・銘柄選定にあたっては、情報通信技術分野のみならず、幅広い分野の中から投資機会を発掘しました。
・なお、株式等の運用にあたっては、フランクリン・アドバイザーズ・インクに運用指図に関する権限を委託しました。

新規組入、全売却した主な銘柄のポイントは以下の通りです。

◎主な新規組入銘柄
・DOCUSIGN INC（ソフトウェア会社）
ＩＤ管理やデータ収集などの分野のリーディングカンパニーとして確固たる地位にあり、紙ベースからデジタル署名への移行による時間およびコストの削減を鑑みると、同社の手掛ける同分野には大幅な成長の余地があると考え、新規に組み入れました。
・ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A（ソフトウェア会社）
テクノロジーを活用した開発プロセスの合理化や開発コストの削減を図る動きが広がっていることから、同社の中核市場であるソフトウェア開発の分野は長期的な成長が見込まれることなどから、新規に組み入れました。

◎主な全売却銘柄
・AMERICAN TOWER CORP（不動産投資信託）
リートの価格が堅調に推移し、さらなる上値余地が小さいと判断し、全売却しました。
・EPAM SYSTEMS INC（ＩＴサービスを提供する会社）
株価が堅調に推移し、さらなる上値余地が小さいと判断し、全売却しました。

・以上のような投資行動を行いましたが、繰上償還に向け2019年６月17日に保有資産を全売却し、安定運用に切り替えました。

●償還価額
償還価額は、11,252円81銭となりました。

○１万口当たりの費用明細

（2019年３月12日～2019年７月８日）

項　　目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	2	0.018	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(2)	(0.018)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(b) 有価証券取引税	0	0.004	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.004)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	6	0.051	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.051)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	8	0.073	
期中の平均基準価額は、11,462円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2019年３月12日～2019年７月８日）

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株 －	千円 －	千株 0.1	千円 1,932
外国	アメリカ	百株 36	千アメリカドル 173	百株 282	千アメリカドル 3,034
	香港	－	千香港ドル －	13	千香港ドル 430

（注）金額は受渡代金。

投資信託証券

	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	AMERICAN TOWER CORP	－	－	0.32	62
	CROWN CASTLE INTL CORP	0.18	23	0.18	23
	小計	0.18	23	0.5	86

（注）金額は受渡代金。

○株式売買比率

（2019年３月12日～2019年７月８日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	354,767千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	327,754千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	1.08

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2019年３月12日～2019年７月８日）

利害関係人との取引状況

区　　　分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	19	－	－	335	1	0.3
為替直物取引	6	0.025948	0.4	333	324	97.3

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項　　　目	当　　　期
売買委託手数料総額（A）	61千円
うち利害関係人への支払額（B）	0.626千円
（B）／（A）	1.0%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーＭＵＦＧ証券です。

○組入資産の明細

（2019年７月８日現在）

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

国内株式

銘　　　柄		期首（前期末） 株　数
		千株
電気機器		
ファナック		0.1
合　　計	株　数	0
	銘　柄　数	1

外国株式

銘柄	期首(前期末)
	株数
(アメリカ)	百株
ACCENTURE PLC-CL A	1
ANALOG DEVICES INC	6
MICRON TECHNOLOGY INC	6
ROCKWELL AUTOMATION INC	2
TEXAS INSTRUMENTS INC	6
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	8
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	3
CISCO SYSTEMS INC	9
SBA COMMUNICATIONS CORP	0.8
APPLIED MATERIALS INC	11
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	6
VIASAT INC	4
MICROSOFT CORP	11
NETFLIX INC	0.25
LAM RESEARCH CORP	2
XILINX INC	3
INTUITIVE SURGICAL INC	0.3
INTUIT INC	0.6
AUTODESK INC	3
SALESFORCE.COM INC	8
SYNOPSYS INC	2
AMAZON.COM INC	0.75
KLA-TENCOR CORP	2
NVIDIA CORP	3
AMDOCS LTD	3
VIAVI SOLUTIONS INC	12
RED HAT INC	0.95
ADOBE INC	1
APPLE INC	4
COSTAR GROUP INC	1
AMPHENOL CORP-CL A	4
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC	2
MASTERCARD INC - A	3
VMWARE INC-CLASS A	0.8
VISA INC-CLASS A SHARES	4
ABB LTD-SPON ADR	5
REALPAGE INC	2
DEXCOM INC	3

銘柄		期首(前期末)
		株数
(アメリカ)		百株
FACEBOOK INC-CLASS A		2
APTIV PLC		1
INTERXION HOLDING NV		4
TESLA INC		0.15
WORLDPAY INC-CLASS A		3
WORKDAY INC-CLASS A		5
SERVICENOW INC		5
ALPHABET INC-CL C		0.45
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR		7
PAYPAL HOLDINGS INC		6
EPAM SYSTEMS INC		2
NEW RELIC INC		1
GODADDY INC - CLASS A		6
ZENDESK INC		5
GUIDEWIRE SOFTWARE INC		3
TWILIO INC - A		4
SHOPIFY INC - CLASS A		1
SQUARE INC - A		1
2U INC		5
HUBSPOT INC		2
NEVRO CORP		4
ZSCALER INC		1
BROADCOM INC		1
SPOTIFY TECHNOLOGY SA		2
PLURALSIGHT INC - A		8
ELASTIC NV		1
小計	株数	246
	銘柄数	64
(香港)		
TENCENT HOLDINGS LTD		13
小計	株数	13
	銘柄数	1
合計	株数	259
	銘柄数	65

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末) 口数
（アメリカ）		千口
AMERICAN TOWER CORP		0.32
合計	口数	0.32
	銘柄数	1

○投資信託財産の構成

（2019年７月８日現在）

項目	償還時 評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	329,164	100.0
投資信託財産総額	329,164	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 （2019年７月８日現在）

項目	償還時
	円
(A) **資産**	**329,164,110**
コール・ローン等	329,164,110
(B) **負債**	**817**
未払利息	763
その他未払費用	54
(C) **純資産総額(Ａ－Ｂ)**	**329,163,293**
元本	292,516,651
償還差益金	36,646,642
(D) **受益権総口数**	**292,516,651口**
１万口当たり償還価額(Ｃ／Ｄ)	**11,252円81銭**

＜注記事項＞

①期首元本額　293,803,382円
　期中追加設定元本額　0円
　期中一部解約元本額　1,286,731円
　また、１口当たり純資産額は、期末1.125281円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
　世界テクノロジー株式ファンド（年１回決算型）　292,516,651円

○損益の状況

（2019年３月12日～2019年７月８日）

項目	当期
	円
(A) **配当等収益**	**652,217**
受取配当金	613,165
受取利息	51,077
支払利息	△　12,025
(B) **有価証券売買損益**	**10,471,816**
売買益	27,581,811
売買損	△17,109,995
(C) **保管費用等**	**△　172,424**
(D) **当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)**	**10,951,609**
(E) **前期繰越損益金**	**25,908,302**
(F) **解約差損益金**	**△　213,269**
償還差益金(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	**36,646,642**

(注) (B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

［お知らせ］

当ファンドは、投資信託約款第42条第２項に規定する「この信託の受益証券を投資対象とすることを信託約款において定めるすべての証券投資信託がその信託を終了させることとなる場合」に該当するものとして、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。
(2019年７月８日)